

## 危険物取扱者 [乙種・性消(第4類危険物)・正誤(4)]

---

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第4類の危険物の蒸気比重は1より小さい。 【 】
- (2) 第4類の危険物は水に溶けないものが多い。 【 】
- (3) アセトンの引火点は常温以下である。 【 】
- (4) トルエンの火災に、ハロゲン化物消火器は効果がある。 【 】
- (5) 第4類の危険物の詰め替えを行う際は、静電気の蓄積に注意する。 【 】
- (6) 第4類の危険物は空間を残さないように容器に詰めて密栓する。 【 】
- (7) 二硫化炭素は液面に水を張って貯蔵する。 【 】
- (8) アセトアルデヒドの燃焼範囲はガソリンよりも広い。 【 】
- (9) 酸化プロピレンは、別名プロピレンオキサイドともいう。 【 】
- (10) ガソリンの引火点は一般に-40℃以下である。 【 】
- (11) エチルメチルケトンの貯蔵には通気口付きの容器を用いる。 【 】
- (12) メタノールはナトリウムと反応して水素を発生する。 【 】
- (13) 灯油は無臭の液体である。 【 】
- (14) クロロベンゼンは淡黄色の液体である。 【 】
- (15) クレオソート油はナフタレン、アントラセンなどを含む混合物である。 【 】

## 危険物取扱者 [乙種・性消(第4類危険物)・正誤(4)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第4類の危険物の蒸気比重は1より小さい。 【×】  
蒸気比重は1より大きい。
- (2) 第4類の危険物は水に溶けないものが多い。 【○】  
水に溶けないものが多い。
- (3) アセトンの引火点は常温以下である。 【○】  
第1石油類。引火点は21℃未満。
- (4) トルエンの火災に、ハロゲン化物消火器は効果がある。 【○】  
ハロゲン化物消火器は効果がある。
- (5) 第4類の危険物の詰め替えを行う際は、静電気の蓄積に注意する。 【○】  
静電気の蓄積に注意する。
- (6) 第4類の危険物は空間を残さないように容器に詰めて密栓する。 【×】  
空間を残して密栓する。
- (7) 二硫化炭素は液面に水を張って貯蔵する。 【○】  
水没貯蔵法が用いられる。
- (8) アセトアルデヒドの燃焼範囲はガソリンよりも広い。 【○】  
アセトアルデヒドの方が燃焼範囲が広い。
- (9) 酸化プロピレンは、別名プロピレンオキサイドともいう。 【○】  
プロピレンオキサイドともいう。
- (10) ガソリンの引火点は一般に-40℃以下である。 【○】  
引火点は-40℃以下である。
- (11) エチルメチルケトンの貯蔵には通気口付きの容器を用いる。 【×】  
通気口のない貯蔵容器に密栓する。
- (12) メタノールはナトリウムと反応して水素を発生する。 【○】  
ナトリウムと反応して水素を発生する。
- (13) 灯油は無臭の液体である。 【×】  
特有の臭気を持つ液体である。
- (14) クロロベンゼンは淡黄色の液体である。 【×】  
無色の液体である。
- (15) クレオソート油はナフタレン、アントラセンなどを含む混合物である。 【○】  
ナフタレン、アントラセンなどを含む混合物である。